



「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第32号

令和4年5月18日

第6学年伊豆高原移動教室の報告



令和4年5月16日（月）と17日（火）に1泊2日で、第6学年の子どもたち108名は伊豆高原移動教室に行きました。向かった先は伊豆高原駅に隣接する区の宿舎です。何よりも子どもは行事で成長しますし、6年生の宿泊学習は集大成と考えます。実施ができて本当によかったと思います。

当日は残念ながら雨。しかし、参加の108名は、午前7時45分に遅刻することなく集合しました。このことでも、どれだけ子どもたちが本移動教室を楽しみにしてきたかが分かりました。バスの中では、事前に考えたバスレクで、クラスで楽しみながら過ごしました。バスガイドさんの地域ならではのお話は、本当に楽しかったですが、途中、1号車のバスが動かなくなるアクシデントがありました。バス会社さんの迅速な動きと教師の支持をしっかりと聞いて動く子どもたちのおかげで誰もが怪我をすることなく、宿舎に到着することができました。約40分予定より遅れての到着でした。

宿舎はとてもきれいでした。そのきれいな宿舎は伊豆高原駅の隣。電車でも気軽に行けそうです。早速宿舎前で開園式。学園長のお話は「ようこそ。自然を満喫してほしい。」というものでした。

そして、午後のプログラムのつり橋ハイキングは、小雨になり、先生方で協議した結果、実行することとしました。子どもの安全と自然に親しむこと、今後の天気予想図を踏まえて決断しました。残念ながらガイドの皆さんはおりませんでした。クラスごとに出発しました。雨は、徐々になくなり、天気にも恵まれたと思います。海の岸壁では柱状節理、大海原の景色等、どれもここに来ないと味わえません。そしてつり橋、ちょっと歩くだけで揺れすぎる感じで、みんな恐々と渡りました。2回も渡る子どももいて、これは本当に楽しかったです。

夕飯のおいしいカレーライス後はキャンドルファイヤー。体育館で行いました。校長先生が火の神、3人の子どもが火の子を演じました。これはその後のダンスやゲームのレクリエーションも含め、本当に盛り上がりました。マイムマイムは定番であるだけに、エネルギー満ちました。レクリエーション係の子どもたちは「キャンドルファイヤーは楽しかったですね。火の神様の言うことをしっかりと守っていきましょう。」というメッセージを終わりに述べていました。

この日、40分遅れの到着にもかかわらず、全行程を無事終了。バス故障、雨、遅れた到着等負の条件を全部克服した子どもたちは疲れたのだと思います。夜はぐっすりと眠りました。

二日目は曇。雨は上がっていました。開園式を終えて、大室山へ。初めてリフトに乗る子どももいて、よい体験となったと思います。頂上は、火山口となっていて、一周しました。少し寒かったけれど……。次に、伊豆シャボテン動物公園へ。ここでお昼を食べ、動物と一緒に過ごしました。ソフトクリームも食べて、子どもたちはグループで楽しい時を過ごしていました。笑顔あふれる子どもたちの様子に、満足感を見ることができました。

1泊2日の移動教室でしたが、充実したものとなったと思います。仲間と共有する時間の価値を実感することにつながったと思います。この体験は、おそらくほとんどの子どもたちは、大人になっても忘れることはないでしょう。本当に、いい天気のもと、移送教室が実施できてよかったね。

6年生の先生方、引率の先生方と学生さん、本当にありがとうございました。子どもたちにとって良い体験になったことを嬉しく思います。長い人生で、体験は、経験となりますから。